

《現状・課題》

・本市における開業率は浜松市や全国平均と比べて低く、起業やスタートアップの創出に取り組んでいく必要がある。
・市内では、スタートアップとの協業・共働が進んでおらず、地域における共創の仕組みが必要である。

《目的》

・地域や行政の課題を、「世界の大きな知」であるスタートアップと、「地域社会の大きな力」である地域の企業・団体・大学等との共創により解決していく。
・市内企業がスタートアップと協業することで、生産性向上や成長につなげる
・スタートアップやスタートアップに関わる人材が生まれ育つ環境整備

《令和6年度の主要な取組》

- 1 スタートアップと地域の共創による新社会システム構築コンテストの実施（146,700千円）
- 2 市内企業×スタートアップによるオープンイノベーション推進事業の実施（33,700千円）
- 3 スタートアップ・エコシステム形成事業（41,100千円）
- 4 次世代人材育成(アントレプレナーシップ教育)（8,500千円）

《主要事業の進捗状況等》

1 スタートアップと地域の共創による新社会システム構築コンテスト【新規】

スタートアップや社会起業家が持つ革新的技術等を活用し、企業・行政等との共創によって社会課題の解決につながるビジネスプランを募集するコンテストを実施する。採択したプランについて、実装に向けた伴走支援と支援金・賞金を提供。

【現在の進捗状況】

※コンテストの開催を5/24の市長定例記者会見で発表、現在提案受付中

①行政課題提示型(行政からの課題提示)

・地域自治、子育て、防災など9つのテーマ、20項目の行政課題を提示

地域自治 自治会、民生委員等の活動負担軽減、現役世代の参加促進のため、DXなどにより地域団体の持続的運営を目指す

子育て 子どもの急病時の保護者負担を軽減するサービスを構築し、仕事と育児の両立の実現を目指す

1次、2次の審査を通過した10件に対し、支援金総額5000万円 を提供

②スタートアップ提案型(一般部門・海洋産業部門)

・市の社会課題解決につながる提案を広く募集

1次、2次の審査を通過した5件のプランに対し、賞金総額500万円を提供

【今後のスケジュール(①・②共通)】

8月上旬:ビジネスプラン募集締切

8月中旬:1次審査

9月:スタートアップと地域による共創チームの立上げ
交流会実施

11月中旬:2次審査

11月～:実証実験等の実施

3月下旬:成果発表会

【年度末に産み出したい成果】

・実証事業を実施した10件の半数程度が翌年度以降の事業化につながることを目指す

2 市内企業×スタートアップによるオープンイノベーション推進事業【新規】

市内企業が有する経営課題等に対して、スタートアップから提案を募集し、企業とスタートアップとのマッチングによる課題解決を図るオープンイノベーションプログラムを実施。

(協業補助金 補助率1/2 上限250万円 最大5社)

【現在の進捗状況】

7/26、8/6に参加市内企業募集に向けた事前セミナーを実施

【今後のスケジュール】

7月～8月:市内企業募集(10社程度)

9月～10月:市内企業の経営課題等のブラッシュアップ

11月:市内企業とスタートアップとのマッチング

12月～:実証実験等の実施

3月:成果発表会

【年度末に産み出したい成果】

マッチングした市内企業のうち5件が実証実験などの事業化に向けた具体的な成果につながることを目指す

3 スタートアップ・エコシステム形成事業【拡充】

①スタートアップと地域関係者との連携体制強化や、地域活性化起業人制度を活用したスタートアップ等とのネットワーク形成
・エコシステム形成に向けた支援団体の拡充

②スタートアップに対する財務アドバイスや資金調達支援策の戦略策定
・コンテストに採択スタートアップを中心に、個別の財務アドバイスや投資家・VCとの交流の機会の提供

・スタートアップへの資金調達支援の枠組み検討
③市内進出するスタートアップのオフィス賃借料等への助成(補助率2/3 上限200万円 最大10社)

4 次世代人材育成(アントレプレナーシップ教育)【拡充】

起業家精神(アントレプレナーシップ)の醸成やスタートアップ関連人材を育成するために、学校への出前講座や体験プログラム等を実施。

① 市内中高生向け キャリア教育出前講座

・9月以降 市内中学・高校15校実施

② 高校・大学生向け 起業体験プログラム

・8月～10月に4回実施

③ 起業家(スタートアップ)向け経営セミナー

・7月以降 6回実施

④ スタートアップ専門人材育成プログラム

・8月以降 エンジニア、デザイナー、広報・PRの3コースを実施